

兵庫版

尼崎市名神町1丁目9-1
兵庫県借地借家人組合本部
発行人 田中祥晃
☎06-6429-1500
www.syakuya.com



毎月1回15日発行
定価1部150円
東京都新宿区新宿
全国借地借家人
組合連合会

第26回兵庫県借地借家人組合本部総会開く



第26回総会で挨拶する田中組合長

減らさず増やす
活動を強化し
420名目標を採択

第26回兵庫県借地借家人組合本部総会が雨模様の中40名参加して小田南生涯学習プラザで開かれました。

司会を福田喜之常任理事が務め、議長に和田壽子副組合長を推薦、承認され議事進行、

来賓挨拶では、全借連を代表して狩俣寛敏会長代行（大借連会長）から挨拶され、続いて日本共産党庄本県会議員、同

参議員選挙区候補金田峰生さんから挨拶を受けた後、5団体の挨拶を紹介。メッセージの紹介は東借連、京借連をはじめ4団体から寄せられました。

記念講演は大阪弁護士会の弁護士植田勝博さんより「借地借家人の居住の権利」と題し、お話がありました。

裁判で植田先生にお世話になった鶴永さんから花束の贈呈のサプライズがありました。

次に田中組合長が挨拶。続いて大塚事務局長は1年間の経過報告で11年間連続組合員を拡大していること、要因として、1、組合員が意識を持ってつながりを生かしたこと。

賛助会員が新たに相談者を紹介されたこと。

2、インターネットを見て組合を知った。

3、大阪北部地震や台風被害者に弁護士、司法書士、全借連関西ブロックが機敏に110番・現地相談を行ったこと。

家賃補助制度創設を求める署名は目標2000筆目標に対し、1300筆を集め、目標達成を呼びかけました。

運動方針ではセーフティネット法に基づき低所得者の居住の安定は急務となっています。

安心して住み続けられるために公営住宅の建設、家賃補助制度の創設を求める署名を提案。

住まいは人権・住宅は福祉」の原点に立ち返り「減らさず増やす活動を強化し、拡大目標420名達成を提案しました。

1、組織活動では、新聞配達一部に付10円、組合費集金の一割の補助制度を軌道にのせ、安定した組

織配達・組織集金へ、家賃補助署名問題など採択されました。

協力者を増やし負担軽減を行い、組合員と結びつきを強めること。

2、魅力ある組合へ、趣味や特技を生かした取組をつよめる。

3、立退き、地代・家賃値上げ、借地、

7月8日、2019年国民平和大行進が伊丹から尼崎に引き継ぎ、組合事務所前で毎年恒例になっているお茶の接待を行い、カンパ円を手渡しました。

暑い中での接待は参加者から期待され、美味しいと喜ばれるとやがいがありません。

当日は役員会と重なり、手伝を呼びかけたところ快く引き



行進する皆さんに喜ばれている恒例の接待

2019年国民平和進行を迎え 核兵器全面禁止・廃絶 お茶の接待喜ばれる

▼「生きていくうちに核兵器の廃絶を」との被爆者の願い、ともに歩き被爆者への国家補償による援護を求めます。

▼憲法の原則を踏みにじった戦争準備や大軍拡に反対し、立憲主義と憲法9条を守る運動に連帯します。

▼東電福島第一原発事故の被災者への完全な補償を求め、放射能被害をもたらすすべての原発の廃炉、自然エネルギーへの転換を求めます。

▼核兵器のない世界めざします。

7月8日、2019年国民平和大行進が伊丹から尼崎に引き継ぎ、組合事務所前で毎年恒例になっているお茶の接待を行い、カンパ円を手渡しました。

暑い中での接待は参加者から期待され、美味しいと喜ばれるとやがいがありません。

当日は役員会と重なり、手伝を呼びかけたところ快く引き

今年度の原水爆禁止運動の目標

▼2020年は被爆75年にむかつて、核兵器全面禁止・廃絶を！の声を広げ、広島・長崎へ、そして世界に届けます。

▼日本政府に核兵器禁止条約への採択を呼びかけます。

▼行進は原水爆禁止に賛成するすべての人々に開かれ、すべての地域で、共同・協力の発展をめざします。

▼「生きていくうちに核兵器の廃絶を」との被爆者の願い、ともに歩き被爆者への国家補償による援護を求めます。

▼憲法の原則を踏みにじった戦争準備や大軍拡に反対し、立憲主義と憲法9条を守る運動に連帯します。

▼東電福島第一原発事故の被災者への完全な補償を求め、放射能被害をもたらすすべての原発の廃炉、自然エネルギーへの転換を求めます。

▼核兵器のない世界めざします。

で採択されました。

懇親会（2部）

冒頭「ガイアの夜明け」のDVDを視聴、余興は踊り、民謡、腹話術、白雪姫が披露され会場は和らぎ、団体、組合員のたのしいの現状を交流し閉会しました。